

校内のいろんなところで見守っています！！ 様々な場面で学校生活を支える保健室



校舎正面玄関外観

京都市右京区の最北、京北地域にある京北第二小学校は、児童数55名の小規模校です。

林業の盛んな地域らしく、木材を豊富に使った校舎は、地域の風景とも調和して、ぬくもりが感じられます。



校内の小川にある水車



玄関から見える校内の様子

救急処置コーナーでは…



保健室に入ってすぐ横が救急処置コーナーです。処置用品とともに校内の写真を載せたマップカードや手当ての仕方を書いたカード等が用意されています。

処置をしながらこのカードを使って、けがをした場所を確認したり、手当ての仕方を指導したりしています。



「校内マップカード」
写真を見ながらどこでけがをしたのか確認します。



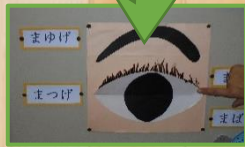
こちらのカードは
手当ての仕方です。

さわって楽しめる掲示物



保健室の前に毎月の保健目標に沿った掲示物を掲示しています。

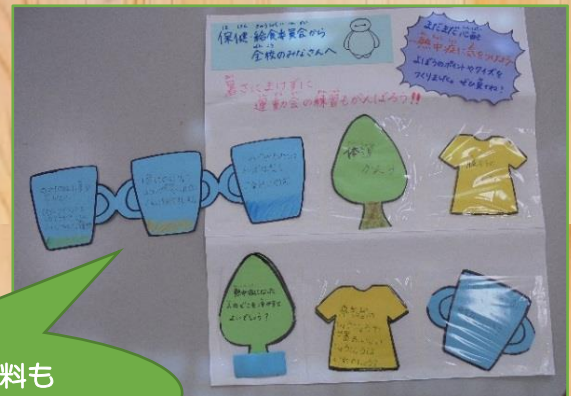
低学年から高学年まで発達段階に応じて、さわって楽しめるように工夫して作成しています。



保健給食委員は毎日、大活躍！

毎朝、保健給食委員の児童は、担任が記入した健康観察票を職員室に届けてくれます。

養護教諭は受け取る際に、気候や健康観察結果などから、その日の過ごし方や心がけなど、気をつけて欲しいことを保健給食委員に伝えるようにしています。保健給食委員は、養護教諭からのメッセージをクラスでしっかりと呼びかけてくれています。



熱中症予防のクイズ資料も保健給食委員が作りました。

保健室利用時の注意の看板も木製手作りで。



写真ニュースは項目ごとに整理し活用しています。

保健室の外での子どもたちとの関わり



児童数が少ないこともあり、保健室への児童の来室もそれほど多くはありません。

休み時間には、校内を見回り、教室・多目的ホール・校庭など、いろいろなところに出向いて子どもたちと関わっています。

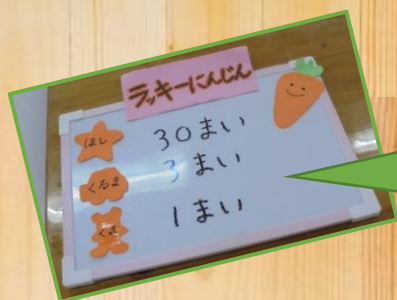
多目的ホールにある卒業制作の木製ベンチ、ここに座って子どもたちと談笑することも…

全校そろって一緒に食べる給食の時間

1年生から6年生まで全校が一斉に利用できるランチルームで、毎日、教職員もそろって一緒に給食を食べています。

誰と誰が仲良くしているか、クラスの雰囲気や食欲・体調などを知る良い機会です。

この時間に、午前中に保健室を利用した児童の経過観察をしています。



毎日の給食メニューの紹介も保健給食委員の重要な仕事です。「今日のラッキー人参の枚数は…」感謝して、残さずいただきます。

給食の後は、全校で歯みがき！！

ランチルーム内には歯みがきができるスペースもあります。

「ごちそうさま」のあいさつの後に、自分の席でブラッシングし、ここですすぎます。



小規模の学校の良さを活かした様々な取組に、一人一人を大切にしたいという関わりを感じました。